

地方創生で活気のある町に 議会だより

かつうら

No. 90

2021.8.30

2. マラソン議会（4月～7月）

3. 議長コラム 勝浦想生 地方創生への議長の想い

4. 〈OVER TALK かつうらアップデート〉 勝浦の未来 - 持続可能なまちづくり -

9. 町民の声

10. 一般質問

20. 地域に生きる ONE TEAM

NPO 法人 阿波勝浦井戸端塾

マラソン

4月・5月・6月・7月

議 会

4 月 会 議

特別職の常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

令和3年5月分から令和3年10月分までの給料月額を町長10%、副町長5%減額する。

改正理由 かんきつテラス徳島、婦人の家にかかる一連の事務手続き不備、日本型直接支払制度及び次世代人材投資資金交付金にかかる事務手続遅延等における特別職としての監督責任によるもの。

令和3年度勝浦町一般会計補正予算（第1号）について

令和3年度コミュニティ助成事業で石原区、掛谷区、今山区を追加 530万円

既決地区…星谷、生名、棚野

5 月 会 議

令和3年度棚野久国配水池改築工事契約の締結について

指名競争入札により（有）勝水工業が落札

1億3090万円（税込）

7 月 会 議

副議長を相原喜久男議員に決定 令和3年度勝浦町一般会計補正予算（第3号）について

補正予算3971万円を追加し、総額46億7375万円とする。

医療機器購入契約4件に同意

① X線一般撮影装置

746万円

② マルチスライスCT装置

3652万円

③ デジタルX線TV装置

2516万円

④ 臨床化学自動分析装置他

1841万円

6月・7月 補正予算 主な内容	(万円)
防災倉庫2台設置、設置場所整備費、備蓄用資材購入費（生名 希望の広場）	1,210
ふるさと阿波勝浦学生応援事業	153
サテライトオフィスへの誘致応援事業	162
コロナ対策プレミアム商品券の発行事業 プレミアム率25% 昨年同様	701
勝浦テーブルPR事業	123
商工関連の専門家招へい事業	560
道の駅事業（空調設備他を整備）	646
高校生による特産品開発、ワークショップの開催等コーディネート業務委託料	107
高齢者にひな商品券を配布する事業	686
100年先を作る起業家育成事業	50
小学校・中学校体育館網戸設置事業	493
町民体育館網戸設置事業	143
町民体育館トイレ改修事業	778
勝浦病院 常勤医師の雇用（9ヶ月）	957
病院内消毒・換気作業業務委託	142



野上町長へ陳情：保護者会 橋本代表（右）

陳情1件

阿南方面への通学手段確保継続の陳情書

*徳島、小松島方面にも配慮を。

発委1件

勝浦町議会委員会条例の一部を改正、2常任委員会を設置する。

可決

発委2件

① 勝浦町議会の会期等を定める条例の一部を改正する条例

勝浦町マラソン議会の令和3年7月10日から1年間の会議日程を決定。

② 勝浦町議会会議規則の一部を改正する規則

議会への欠席事由の整備と産前・産後の欠席期間を規定。請願手続きで押印の義務づけを見直し、署名または記名押印に改める。議場に入る者の携帯品の持ち込みの取り扱いを改める。

6 月 会 議

令和3年度勝浦町一般会計補正予算（第2号）について

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、子育て世帯生活支援特別給付金により7574万円を追加し、総額46億3404万円とする。

同意1件

議会選出の監査委員に仙才守議員を選任。

想 生 勝浦

地方創生への議長の想い

住民参画で議会力アップ

猛暑が続 き、コロナ対策に加え マスク着用での熱中症対策にも気を配る大変な夏を過ごしていることと思

ます。

また、長引く雨模様となり災害や作物被害など心配が絶えませんが、どうぞ自分の身を守る行動をお願いします。

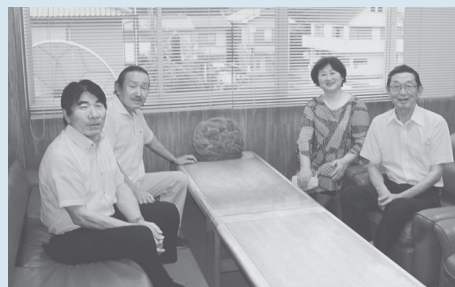
長引くコロナ禍において、「できることからする」の考えのもと、感染対策を徹底し議会活動を行っています。

若あゆ議会にて、相原副議長が就任されました。デジタル化に向け、副議長を中心にスキルアップができるよう期待しています。

勝浦町議会は、年4回であった議会を毎月のように議案を審議できるように通年の会期制を取り入れました。「走り続けるマラソン議会」が早8年過ぎようとしています。



くらし育み常任委員会



議会運営委員会



まち未来づくり常任委員会

「OVER TALK(オーバートーク)」は、毎回テーマに沿った住民に集まっていただき一つのテーマについて、話しすぎteいただく（≡オーバートークしていただく）、誌面・インターネット動画連動型の新企画です。



話しすぎるほど
語り尽くそう
私たちの町のこと

《テーマ》

「勝浦の未来」 —持続可能なまちづくり—

近年、女性の活躍、社会進出がクローズアップされています。従来より、徳島県は女性が輝くことのできる風土、文化が根付いている地域であり、勝浦町においても地域活動や行政セクターなど、様々なシーンで女性の存在なくして社会システムの維持はできないのではないのでしょうか。

しかしながら、町人口の半数を占める女性の想いが、政策の決定過程に反映されているかどうかについては疑問が残ります。勝浦町議会においては、10人

《プロローグ》 女性活躍環境の現状

議員の内、女性は2人のみであり、町政全般の取り組みに対して女性が参画できる仕組みづくりは、行政、議会において喫緊の課題でもあります。

そのような状況を踏まえて、今回のOVER TALKでは、多くの経験をもとに様々な活動を実践している町内在住の女性4人に集まっていただき、勝浦町の現状認識と、さらには未来の勝浦をイメージを共有しながら、近未来へのアプローチを本音で語り合っていました。

ト」とは何でしょうか。

松田 子どもたちが勝浦の魅力を実感するためにも、町外の様々な地域や人々と触れ合うことが重要。本格的に英語を習いだす中学校のタイミングで国外に行くことで視野が広がり、いろんなことにチャレンジできる。今はホームステイで海外に行くのが難しいが、ZOOMやSkype等のオンラインツールを利用することで、いろんな国や職業の方とのコンタクトが簡単になっている。

新居 確かに自分の住んでいる町以外の場所を知ること、自分の町の良いところ、悪いところが分かりますよね。

柳田 うちは子どもが未就学児なので「遊び」が遊びの一部だと思っている。勝浦町内で遊ぼうと思ったら、星谷運動公園しかなく、わざわざ町外の施設に連れて行ったりする。せっかくこんなに広い土地があるので、自然を活用したアスレチックなどの遊び場所があったら子どものために良いのでは。

山内 子どもっていっぱい夢がある。しかし、大人が自分の価値観

新居 「OVER TALK かつらアップデート」、今回は様々な活動をしておられる4人の女性をトークゲストとして迎えしております。皆様には町民として、女性としての目線で勝浦町の現状や未来への展望も含めて、まちづくりを本音で語り合ってもらいます。よろしく願ひします。

全員 よろしく願ひします。

〈Q1〉子どもたちの成長のために、今の勝浦町に足りないのは？

子どもたちの多様性を活かせる環境作りと大人の理解

新居 それでは、最初のクエスチョンです。子どもたちが夢を育み健やかに成長するために、今の勝浦町に足りない「モノ」や「コ

で子どもの夢を潰していることがある。大人が意識を変えることが必要では。また、夢を実現させた魅力ある人物を勝浦町に招聘するなど、いろんな問題をどうやら解決できるかを考える機会づく



りが必要。「どうせ無理」って言葉をなくしたい。

八百原 高校生の時、勝浦町に友人がいて、高校の進路や中学校の部活動の選択肢が少ないことに衝撃をうけた。また、小・中学校は同じメンバー、同じクラスでの学習環境だと思うが、最近ではオンラインで他の学校ともつながることができるので、そういった機会をつくることも必要では。オンラインでも意欲的に学ぶことは可能なので、周りが理解を深めていくことが大事。

新居 町内の小中学校で9月からICT支援員をする予定の柳田さ



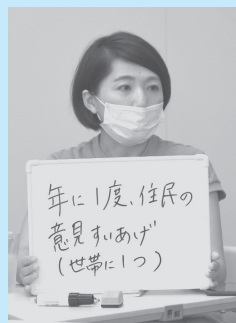
んは、海外でもICT支援の経験があると伺いましたが。

柳田 以前、青年海外協力隊に参加し、ウガンダでICT支援をしていた。オンラインで日本と現地の子どもたちが慣れない英語で喋るのも楽しい交流の場となる。I

《トークゲスト》

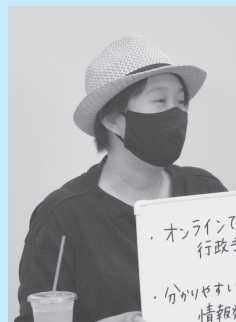
アクティブウーマン

多くの経験をもとにさまざまな活動をしている町内在住の女性をトークゲストとしてお迎えいたしました。



やなだ ひろこ
柳田 博子
農業・ICT支援員

県内企業でSEとして勤務後、青年海外協力隊に参加し、PCインストラクターとしてウガンダで活動。その後、数社を経て徳島へUターンし農業に従事。9月から町ICT支援員として活動。現在子育て6年目。



まつだ ひかる
松田 光
食品製造販売 (ECサイト運営)
ドイツ生まれ。父の仕事の都合で、5歳の時に帰国。母の故郷勝浦町へ移り住む。高専卒業後VFXクリエイターめざし渡米するが、間もなく父が体調を崩したため、帰国。6児の母。



やまうち たまみ
山内 瑠実
フリースクール運営
台湾大震災の復興ボランティアに参加。台湾での出会いから人生は自分で選べることを学ぶ。徳島では、会社勤めの傍ら自然教室の立ち上げや自主保育グループを主催。



やおほら ゆうき
八百原 侑希
鍼灸師
小松島市出身。鍼灸学校を卒業後、鍼灸院に勤務。2019年に独立し、東洋医学を身近に感じてもらう活動を行う。移住者の夫との結婚を機に2018年に勝浦町に移り住む。



〈会場〉
勝浦町地域活性化センター REVITA かつらぎ

『観光、交流又は移住についての業務』、『地域のコミュニティ活動の振興業務』及び『地域資源を活かし、町を活性化するための業務』を行う施設として、2017年にJA東とくしま「よってネ市」の隣にオープン。

勝浦町地域活性化協会の拠点として、観光、交流、移住、まちづくりの研修などに関する事業を行っているほか、町内各種団体の会議など多目的施設として利用されている。

〈ファシリテーター〉

にい さとこ
新居 慧香
宿泊施設事務員

京都の大学を卒業後、故郷である勝浦町に戻る。農村文化圏にフォーカスして活動しており、ふれあいの里さかもとなどで着地型観光に携わる。



このコーナーは
誌面と動画の連動企画です

インターネットで全編動画

を見ることができます。

<https://qr.go.page.link/VGEpk>



第1弾動画 公開中！
「儲ける農業 - 勝浦の農業が向かうところ -」

援したら良いかを当たり前に考えられる町であってほしい。

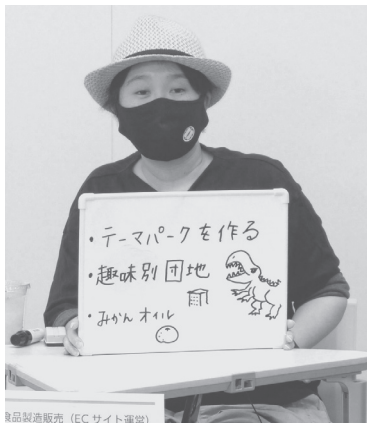
〈Q2〉勝浦町の営業部長であったなら「何」を売り込んでいきたい？

豊かな自然環境や恐竜

活用できる資源は豊富にある

新居 続いて、二つ目のクエストにうつります。もし、あなたが勝浦町の営業部長であったなら「何」を売り込んでいきたいですか。

八百原 私が勝浦町に来て一番びっくりしたのは人の温かさ。



製品製造販売（ECサイト運営）

いか。廃棄される果実を利用することで持続可能性を帯びた取り組みとなるのでは。

新居 先ほども公園整備などの話もありましたが、今ある自然を生かすことで勝浦町を売り込むこともできると気づけました。当たり前だに思えて、魅力があっても気づかないことが多く、勝浦町もまだまだ伸びしろがありますね。

〈Q3〉小規模自治体ならではの、住民サービスとして何を求める？

手続きのオンライン化と

子どもの夢を応援する仕組みを

新居 3つ目のクエストは、「小規模自治体ならではのきめ細かな住民サービスとして何を求めますか」です。



山内 何かやりたいことがあった時の資金援助や専門家や得意な人を紹介する仕組みや「夢を応援します」みたいな企画で選ばれた人を町が応援して、一人では出来なかった事が町や町民など誰かの助けで実現できたら、勝浦で暮らしていて良かったなと思う。

柳田 各世帯に一つだけアンケートを取って、実現性の可否を判別してフィードバックして欲しい。それを実現するためにも、何よりも役場の方の働き方の改善を図ってもらいたい。役場職員に余裕が

「ただいま」って感じで、近所のおばあちゃんがよくしてくれる。デイサービスに行っている高齢者も子ども達と触れ合いたいと思っていて、逆に子どもたちもそう思っている。お互いに影響しあえる子ども達と高齢者のデイサービスをつくったら、面白いことができるのではないかな。

新居 違う年代との交流は得るものが多いですね

山内 川で育った子は川に帰り、森で育った子は森に帰ってくると思う。自然にあるものは予測できないことが多く、遊ぶことを選択することで豊かさや自信にもつながる

なかったら、きめ細かなサービスはできない。

八百原 役場に行く手間や時間を共働きや子育て世帯はどうしても省きたい。これだけICT技術が発達しているので、インターネットで処理する方が絶対楽。窓口対応を含め、役場職員の仕事が絶対省ける。浮いた時間を「夢実現」などのサポート体制に割いてほしい。

新居 住民側の手間も省けるし、役場側の手間も省けて、二重のいい循環が生まれるというのはありますね。

松田 補助金や児童手当等の手続きってとても多い。簡素化してオンラインでできたらすごくいい。あと移住したいと思った時にその町のホームページ見に行くと思うが、そこに見たい情報が分かりやすく漏れなく掲載されている必要があり、自分の知りたい情報に簡単にたどり着けることが大事。

柳田 役場の職員は忙しすぎる。子育てのために平日残業できない代わりに休日出勤で対応していることがある。企業の見本となるべ

がる。小さいころから森や川などの自然と触れ合うことのできる環境、「森のようちえん（※）」があると、それを求めて移住してくる人も増えるのでは。

柳田 「みかん」はまだまだいけると思っている。みかんもたくさん種類があり、雑柑類もある。多彩な種類をお手頃価格で取り揃えることで人を呼び込みたい。

松田 勝浦で恐竜の化石が出たので、ワナーさんに話を持ち掛け、広大な土地を活用してジュラシックパークを作る。趣味別団地で地域力を増す。食用に適さないみかんを利用してオイルを製造できな



文庫員（市）

き公務員なのにどうなのって思う。業務の効率化や人員補充を考えるべき。職員の方が働きやすいことが、住民の人も住みやすくなることに繋がると思う。

〈ここから消防団の話題に〉

柳田 私の夫が消防団員で、月に2回点検作業がある。消防署がない勝浦町ではとても重要な役割を担っているが、それに対する負担が大きいのでは。コロナの時期なのに飲食があるのは理解できないし、何かあった時に消防団が出勤できないことがないよう、役割を考えて活動して欲しい。

新居 消防団のイメージって、古くからのしきたりや暗黙の了解があったりで、見直しも必要なのかな。

柳田 消防団として新しい人が入

らなければ成り立たない。新しい人の意見も取り入れて活動してほしい。飲み会がダメだという話ではなく、コミュニケーションを図るうえでは必要なので、適度に節度もつけてほしい。

松田 小学校で消防団についての授業があり、その授業の時に地域の消防団が協力するが、児童のお父さんが消防にいたら、子どもは自慢げな顔をする。そういう雰囲気でも月に2回、子どもと一緒に点検をすることなどで消防団への理解も進み、将来消防団に入りたいて思ってくれるのでは。「飲みに行っている」イメージしかないことが、団員確保が難しい現状に繋がっているのでは。将来的な団員育成を踏まえた活動をしてほしい。

八百原 勝浦町は地域での活動や集金がたくさんあり、移住者は戸惑うのでは。出なくて良いのかもしれないが気を遣うこともある。子育て世帯は出役を免除するなど、住みやすい環境づくりを進めてほしい。

新居 今日は様々な活動をしている方に集まってもらい、いろいろ

なアイデアを聞く中で、「多様性」や「感性を大事にする」とかは、語弊があるかもしれませんが「女性ならではの」の意見ではないでしょうか。大切な意見をたくさん聞かせてもらい、いろんな話を深掘りすることができました。

（※）森のようちえん

自然体験活動を基軸にした子育て・保育、乳児・幼少期教育の総称。

<https://morinoyouchien.org/about-morinoyouchien>



左から、松田さん、柳田さん、山内さん、八百原さん、新居さん

花房 今回の企画に参加させていただき凄く感銘を受けたのは、大人の意識改革が必要という提案。自分も3人の子育てをほぼ終えたが、自分の型にはめていたのかなと思う。

本当に子どものいろんな意味での視野を広げるため、沢山の出会いやいろんな物の選択肢を増やせたらいいのかと思っ

仙才 議会広報にも新規性や多様性が必要と考えている。

今回の企画が実現でき、参加者はじめ関係の皆様感謝。トーク内容ですが、ネット環境の活用と教育の多様化・国際化について言及があり、興味深く拝聴しました。

相原 男性脳は論理的・シングルタスク・結果重視、女性脳は感情的・マルチタスク・プロセ

《議員考察》

多様性を受け入れる教育の必要性

オーバートークを終え、議員が感じたこと

ス重視とかねてから言われてきた。今回さまざまな提言をうかがう中、今後の勝浦町は女性の活躍にかかっているように感じている。

松田 オーバートークも2回目となり、参加者の意見や提言をいかに町政にフィードバックさせるかが求められている。参加者と引き続きコミュニケーションを図りながら、政治参加に繋がるような仕組みづくりを確立したい。

瀬戸 子ども教育ではICTの活用が必要で、そのためには、時代の波にのって行けるように、子どもとお年寄りや地域の方々とのコミュニケーションがはかれるようにし、多様性でいろんな道、出会いの中で感性をはぐくんで欲しい。こういう考えがすごく良いなと思いました。

町民の声

日ごろ、皆さまからいただいている声を、議員が町民代表として執行部へ投げかけました。



坂本体育館の耐震不足について、詳しく知りたいなあ。

千年に一度の水害に対応するため、避難所については坂本体育館も含めて全体的に見直しをする。

地元への連絡が十分ではなかったが、区長には通知をしたと報告を受けている。

地元指定解除を連絡していないのではないかな。

坂本地区での避難所収容人数は不足していると考えている。

昭和56年6月1日以前の建築であるため、耐震基準を満たしていないと判断した。耐震診断はしていない。所管の教育委員会で耐震診断の予定がないことを確認し、防災会議に諮り避難所の指定を解除した。令和2年3月31日付で県への報告と公示を行った。

坂本体育館の避難所指定解除について、耐震不足のため指定を解除したとの説明だった。どの程度不足しているのか。



コロナワクチン、18歳未満はいつから接種？

7月5日からの接種となり、原則として保護者の同伴を求めている。教育委員会と連携しながらワクチン接種への正しい理解を図り、接種の有無による問題が生じないよう情報提供していきたい。

勝浦町での新型コロナワクチン接種は順調に進んでいる。今後は18歳未満の接種となるが、今後の方針やスケジュールは。



年代別 コロナワクチン1回目接種見込み
(8月3日時点)

年代(歳)	対象者(人)	実績/予約(%)	実績/予約(人)
65以上	2,327	92.1	2,145
40-64	1,361	84.6	1,152
18-39	753	68.5	516
12-17	257	63.8	164
計	4,698	84.6	3,977

通年日程

令和3年

令和4年

7月 12,27,28,29	1月 17
8月 24	2月 10
9月 14,15,16,17,22	3月 2,3,4,7,17,18,22,23,25
10月 19	4月 19
11月 1,24,25,26	5月 17
12月 14	6月 21

勝浦町議会では、マラソン議会と称して通年会期制を取り入れています。会期を通年とすることによって、常に議会が活動できる状態となるため、議会のさらなる活性化が期待できます。また、通年議会の内、一般質問をおこなう7月、11月、3月はそれぞれ「若あゆ会議」「みかん会議」「ひな会議」と愛称がついています。

一 般 質 問

町政の“ここ”が聞きたい！

7月 若あゆ会議

一般質問とは、議員個人が町長などの執行部に対して執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかを確認する場。3月・7月・11月に行っている。

まちづくり	県が盛り土造成地等を調査中 町内は平石山鉾山が対象予定	花 房	P.11
	オレンジファクトリー利用不調 周知不足や利用料割高が原因	井 出	P.14
	平石山鉾山の安全性 事業者へ説明会開催を求めた	井 出	P.14
	勝浦中学校 数ヵ所からの雨漏り 前任者より引き継ぎなし	麻 植	P.16
	生比奈小体育館の屋根剥離 現在、工事内容を検討中	麻 植	P.16
	待機者の多いリフォーム助成 来年度の予算で対応	筈	P.17
	商工活性化に専門家招致 ブランド化と情報発信に期待	筈	P.17
	フラット 35 地域連携型にデメリット感じない	松 田	P.18
	平石山鉾山 国からの返答なし	松 田	P.18
	ふるさと納税最下位脱出 町として必ずやります！	国 清	P.19
教育・子育て	学校運営協議会に参加し、小松島西高校勝浦校の今後を検討	仙 才	P.13
農業振興	旧パイロットの園地 スマート農業等に活用したい	瀬 戸	P.12
医療福祉	抗原検査 保険証提示で 個人負担分を公費負担	花 房	P.11
	コロナワクチン若年層接種でクラスター防止効果を期待	仙 才	P.13
	ワクチン接種率 80%超 県下でトップであると自負	相 原	P.15
防災	外国人労働者の雇用主と災害対応連携ができていない	瀬 戸	P.12
	防災啓発で各地区説明会を行う	相 原	P.15
	合意が難しい消防常備化 まずは小松島市と調整	国 清	P.19



過去に発行した勝浦町議会広報や一般質問の全編映像は、公式ウェブサイトから閲覧できます。そちらも合わせてご覧ください。

<http://www.town.katsuura.lg.jp/gikai/>



町民の「笑顔」募集！

議会広報委員会では、みなさまからの表紙写真を募集しております。テーマは「町民の笑顔」！詳細は下記 URL または QR コードをチェック！

<https://formok.com/f/1chm9gn1>

町内の盛り土箇所 目視点検では、異常はなかった

県が盛り土造成地等を調査中
町内は平石山鉾山が対象予定

災害対策基本法が改正され、5月20日より避難情報等が変更になったが説明を。

中瀬総務防災課長

警戒レベル3の避難準備・高齢

者等避難開始が高齢者等避難に、警戒レベル4の避難勧告が廃止され、避難指示に一本化された。避難指示と避難勧告との違いが明確でなかったため、避難指示に一本化して早急に避難に対応するよう変更された。

町内の土砂災害警戒区域の箇所数、周知方法や表示は。

海川建設課長

「土石流」「急傾斜」「地すべり」合わせて警戒区域は297ヶ所、特別警戒区域は278ヶ所ある。町のハザードマップや県のホームページで周知している表示は「砂防三法指定地」についての表示である。

町内で危険性がある盛り土はないのか。

建設課長

県の調査によると、県内

の大規模な盛り土造成地や残土処分場150ヶ所で異常がないか調査中であり、町内では平石山鉾山の調査をするという。町内で過去において盛り土をした場所を目視点検をしたが、異常はなかった。

抗原検査 保険証提示で
個人負担分を公費負担

勝浦病院での新型コロナウイルス感染症疑いのある患者への対応は。

笠木勝浦病院事務局長

風邪の症状のある方全てを疑い患者として、病院外部の発熱外来で診察している。

抗原検査とPCR検査の費用はどうなっているのか。

勝浦病院事務局長

抗原検査は保険証の提示があれば、本人負担分は公費負担する。
また、PCR検査については保健所の指示があれば全て公費となる。

その他の質問

- 新型コロナウイルス感染症について
- 「徳島県消防広域化推進計画」について
- ふるさと納税について
- 政策監業務について

はなふさ かついち
花房 勝一 議員

女性や外国人の避難所対応 まだ課題が残る

外国人労働者の雇用主と

災害対応連携ができていない

—— ハザードマップが各戸に配布されたが、説明が必要でないか。

中瀬総務防災課長

説明会を秋に予定している。わかりやすい説明を心掛けたい。

—— 女性の視点を取り入れた避難所運営は。

総務防災課長

町内の女性団体から防災への意見を聞き入れ、避難所運営に生かしたい。

—— 自力で避難できない、移動に配慮が必要な方々の把握や対策はできているか。

総務防災課長

マイタイムライン（個別避難計画）の作成用紙をホームページに掲載し、説明会などで配布、説明する。

—— 外国人労働者の雇用主と災

害時の対応について連携はできているのか。

総務防災課長

連携できていない。今後取り組んでいく。

旧パイロットの園地

スマート農業等に活用したい

—— 3月に園地の整備をしたが、現状は草が生い茂っている状



こなになつとんでよ パイロット園地

況だ。

河野農業振興課長

夏場に再度除草

作業を行う。

—— 地元検討委員会に利用計画を説明してほしい。

農業振興課長

方向性が決まっていないので、決まり次第説明会を開催する。

—— 沼江、石原地区のみかん農家もしくは、町内のみかん農家に分割譲渡（貸与）してはどうか。

農業振興課長

当初は移住者やコロナ禍での失業対策として新規就農者の募集したが、就農には至らなかった。

来春には3反ほどに温州ミカンの苗木を植え付け予定で、柑橘アカデミー受講修了者、新規就農者をめざす担い手に向け準備したい。スマート農業への活用（自動草刈り機等）や雑草を抑える姫岩

姫岩垂草（ヒメイワダレソウ）

南アメリカのペルーが原産。成長が早く、7月から9月頃淡いピンク色にオレンジ色の斑紋がある小さな花を咲かせ、水田のアゼや斜面の雑草を抑制するために利用される。

垂草の植栽等、実習園地として活用していきたい。



瀬戸 直一 議員

その他の質問

- 沼江バイパスの進捗状況
- 水銀灯の使用状況

小松島西高校 勝浦校 進学希望者減少への取り組みは

学校運営協議会に参加し

勝浦校の今後を検討する

—— 小松島西高校勝浦校への進学希望者が極端に減少している。一方、神山町の城西高校神山校では、行政や地域が様々な方法で同校を支援し、魅力化を図ることで進学希望者を獲得している。（詳細は神山町のホームページ参照）

本町ではどのような取り組みがなされているか。

石木教育委員会事務局長

専門家による商品開発の支援や、民芸部（人形浄瑠璃 勝浦座）への間接的な支援などを行っている。

—— 8年前の高等学校再編の折、行政を中心に学校存続を要望したが、進学希望者の減少は地域のニーズと現状にギャップがあるということではないか。

教育委員会事務局長

本年度から同校の「学校運営協議会」が始まった。「地域とともにある学校づくり」をテーマに、進学希望者の減少といった危機感を共有しながら、これからの勝浦校について協議する。

コロナワクチン若年層接種で
クラスター防止効果を期待

—— 若年層は感染しても発症率や重症化率が低いいため接種慎重論

があるが、接種を勧める理由は。また、1か月前に若年層宛の接種券を送っているが、7月末時点での申し込み率は。

木村福祉課長

高齢者への家庭内感染防止と、若者は集団行動する傾向があるのでクラスター防止効果があると考ええる。

接種申込率は、全体では対象者4698人に対して81%、また12才から15才では対象者107名に対して41%となっている。

中学生へのワクチン接種 「させたくない」26% 藍住町、保護者アンケート

藍住町が新型コロナウイルスワクチン接種について町内の中学生の保護者にアンケートしたところ、「子どもに接種させたくない」とする回答が26%あった。副反応への心配やワクチンに対する不安が根強くあるとみられる。町は出された意見を今後の接種業務に生かすとしている。

保護者は不安？（徳島新聞 7月1日朝刊）

「城西高校 神山校」の紹介ページ

<https://www.town.kamiyama.lg.jp/josei/>



その他の質問

- 徳島医療福祉専門学校への経済効果他
- GIGA スクール今後の展開

せんざい まもる
仙才 守 議員

オレンジファクトリー 料金設定と設備拡充が課題

オレンジファクトリー利用不調

周知不足や利用料金割高が原因

——旧・果樹試験場に整備されたオレンジファクトリーの利用状況が良くない。原因は何か。

河野農業振興課長

周知不足、利用料が割高で器具類が少ない等が原因と思われる。

——改善センター並みに利用料金を改定をしたらどうか。

農業振興課長

11月をめどに改定したい。

——オーブンや調理器具等の備品の拡充が必要ではないか。

農業振興課長

必要であれば補正予算で対応したい。

——販売できる加工施設への移行が必要だ。資格を持った人に委託加工すれば販売ができる。検討

するべきではないか。

農業振興課長

商品開発に目途がつけば、販売用加工施設についての調査を行いたい。

平石山鉱山の安全性

事業者へ説明会開催を求めた

——熱海の災害以降、町民の間に平石山への土砂搬入に対する不



止めれるんで？ 残土搬入

安が大きくなっ

ている。県は、

平石山の安全調

査をするのか。

海川建設課長

県は現在、150ヶ所以上の盛り土調査をしているが、平石山も調査する。

——4000立方メートルの建設残土搬入計画があったが、現行の法律で止められないため、直接工事会社に申し入れをした。結果、「搬入しない」との回答を得た。今後は、盛り土を規制する新たな法律が必要ではないか。

野上町長

飯泉知事が全国知事会で、国に対して建設残土の全国統一の基準規制を早急に設けるように要望している。条例改正を含め知事をお願いしたい。

——今、たちまち止められない現実がある。町民の安心安全はど

う担保するのか。

野上町長

事業者にと町民への説明会を開くよう求めた。

その他の質問

- 交通弱者について
- 町長と住民との対話について

い で み ち こ
井出 美智子 議員

アフターコロナを見据え 日常回帰を役場全体で考えたい

ワクチン接種率80%超
県下でトップであると自負

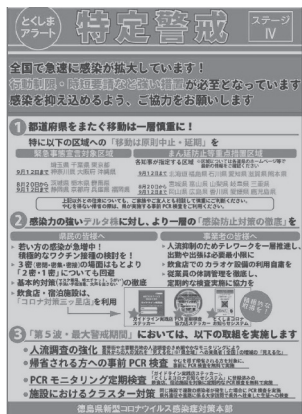
——新型コロナウイルス接種により、日常生活はもとに戻るのか。

木村福祉課長

ワクチン接種後については、引き続き基本的な感染防止対策を徹底して頂きながら、県外への移動旅行等には慎重にご判断をいただきますようお願いする。

野上町長

長期にわたり町民の皆様に感染拡大防止のご協力をいただき、またワクチン接種は勝浦町が県下でトップであると自負している。コロナ後を見据え、どのように日常



上がってきたよ 徳島アラート

令和3年3月作成

勝浦町 洪水ハザードマップ

近年、各地で台風や集中豪雨等で洪水や土砂災害により甚大な被害が発生しています。そのため、徳島県により、勝浦川の洪水浸水想定が策定されました。

本マップには洪水・土砂災害の被害の想定範囲、避難場所、防災情報の入手方法や避難の心得を示しています。

被害を最小限にするためには、災害を知り、発生や被害の状況(防災情報)避難場所や避難経路、指定される避難場所等を整理し、事前に準備しておくことが重要です。皆さん一人ひとりが災害について日頃より考え準備し、いざというときに大切な命を守るため、本マップをご活用下さい。

範囲は 石原・沼江・掛谷・山西・中角・夕土・東岩地区

緊急連絡先	
災害情報を知らせる時 消防本部 (総機) (0885) 42-2511	救助が必要な時 消防本部 119
ケガをした時 救急派遣隊 (0885) 42-2500	

名	前	生年月日	血液型	電話番号	会社・学校等 連絡先

名	前	住所	電話番号

見といてよ! ハザードマップ

洪水ハザードマップ等の完成度は、

——洪水ハザードマップ等の完成度は、

中瀬総務防災課長

新しい県の勝浦川洪水浸水想定に更新するとともに、平成28年4月に国土交通省が作成した水害ハ

山田副町長

今回のマップは自宅や職場がどのような状況にあるのかを確認するために作成した。

データ量が多く、分かりにくいところがあるが、今後各地区の説明会等で「マイ・タイムライン」なども含め、確認していただく予定だ。

山田副町長

今回のマップは自宅や職場がどのような状況にあるのかを確認するために作成した。

データ量が多く、分かりにくいところがあるが、今後各地区の説明会等で「マイ・タイムライン」なども含め、確認していただく予定だ。

マイ・タイムライン

住民一人ひとりのタイムライン(防災行動計画)であり、河川の氾濫や地震発生時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするもの。

その他の質問

- GIGA スクール構想について
- 簡易水道のメンテナンスについて

あいほら きくお
相原 喜久男 議員

勝浦中学校校舎の雨漏り対策 原因究明できれば予算付け

数カ所からの雨漏りを確認
前任者より引き継ぎなし

——勝浦中学校校舎雨漏りにつ
いて前任者からの引き継ぎはあつ
たのか。

石木教育委員会事務局長
事務局長として前任者より引

継書という形では受けとっていない。ただ、担当職員間では引継書に記載する形で確認している。

——当初は職員室周辺からの雨漏りであったが、近年は色々な所から雨漏りしているとのことだが。

教育委員会事務局長

数カ所からの雨漏りを
確認している。

——対策については。

教育委員会事務局長

大雨や台風で雨漏りが発生しており、設計管理業者や施工業者に修繕等の対応を指示している。しかし、全ての箇所についての改善には至っていない。

——雨漏りの原因究明や対策には相応の予算付けが必要と思うが。

野上町長

原因が突き止められるのであれば、修繕に向けた予算計上も検討したい。

生比奈小体育館の屋根剥離
現在、工事内容を検討中

——生比奈小学校体育館の屋根が剥離している。雨天時の児童の運動場、災害時の避難場所や選挙時の投票所として多目的に活用しなければならない。確認しているか。

教育委員会事務局長

5月10日に現状を確認している。

現在、調査を依頼し工事内容を検討している。確定すれば予算計上することとなる。



雨漏りの原因究明を!



今後は投票所としても利用される生小体育館

お え ひで き
麻植 秀樹 議員

要望の多い新築・リフォーム助成 5月に満杯 現在15件待機

待機者の多いリフォーム助成
来年度の予算で対応

——今年度、リフォーム助成として25件分、750万円が計上されたが、すでに満杯で対応を考えると欲しいとの声が多い。現在の執行状況は。

海川建設課長

5月広報で募集したところ、5月中旬に満杯になり、現在、15件の待機がある。

——新築住宅助成の状況は。



要望が多いリフォーム助成

建設課長

10件分の予算に対して、7件の申請がある。

——年度が始まって間もないが、リフォーム助成はすでに満杯で、今後も希望者増が見込まれる。補正予算で対応の考えは。

野上町長

補正予算は考えていない。新築助成の状況を見ながら調整できるか検討する。

要望が多い事業であるので、待機者を考慮して来年度予算で対応する。

商工活性化に専門家招致
ブランド化と情報発信に期待

——「勝浦ブランド」を推進するため、専門家を招致してアドバイスを受ける事業の内容は。

寺尾企画交流課長

「阿波かつうら」ブランドの



はじまった特産品開発講座

るプロの方なので、商品企画やパッケージデザインの指導も期待できる。

個別相談会も多く開催するので利用してもらいたい。

——各団体への支援は。

企画交流課長

「ふれあいの里さかもと」や「商工会」、「KIFriends」などとの連携を考えている。

構築と情報発信を行なう。

また、道の駅「ひなの里かつうら」のコーディネートや小松島西高校勝浦校との連携による商品化ワークショップなどを行なう。

——町内事業者への販路拡大の支援を期待しているが対応は。

企画交流課長

販売ノウハウに関する

その他の質問

- 国勢政調査 速報値を受けて

しとみ こういち
節 公一 議員

移住・定住の一助となるよう フラット35に取り組みたい

フラット35地域連携型に デメリット感じない

——子育て世帯や地方移住者等に対する積極的な取組を行う地方公共団体と住宅金融支援機構が連携し、住宅取得に対する地方公共団体による財政的支援とあわせて、「フラット35」の借入金利を一定期間引き下げる制度がある。自治体の財政負担はなく、町民が借入時に選択肢を増やすことにもつながる。

野上町長

デメリットも感じられず、移住・定住に向けた一助になるようなので取り組みたい。

平石山鉦山 国からの返答なし

——勝浦川漁業協同組合が事業者を訴えていた裁判は、漁協側の主張が退けられ終結した。町長は過去の議会で裁判終了後、事業者に話を聞くと答弁している。この間の取り組みは。

町長

現地での住民説明会の開催が安全、安心につながると考え、6月11日に認可権者である国に対して申し入れを行った。事業者と直接話はできていない。

——現状のまま現地説明会を開催することでは、根本的な解決には至らない。国や県、事業者の認識を整理し、事業所のある勝浦町が受ける影響を共有するために、町を含めた4者が集う協議会の開催が優先されるべきでないか。

町長

住民の不安を解消するためにも、現場を見ながら事業者から説明を聞くことが重要である。現地説明会の開催が前提であれば、4者が協議することも考えたい。

——一日でも早い解決に向け

【フラット35】地域連携型

子育て世帯や地方移住者等に対する積極的な取組を行う地方公共団体と住宅金融支援機構が連携し、住宅購入時に補助金交付などの財政的支援とあわせて、【フラット35】の借入金利を一定期間引き下げる制度。

町長

国に対して私自身の不安を投げ掛けたが答ええない。そこは言及していきたい。

で、町長自身の不安を解消する必要がある。今以上に強く申し入れるべきでないか。

まつだ たかし
松田 貴志 議員

ふるさと納税額 県下最下位 体制などを今後検討

町として必ずやります！
見とってください

7月の徳島新聞「ふるさと納税過去最高額に」の記事で、勝浦町の令和2年納税額は、県内市町村のうち「ケタ外れの最下位」だった。町民から「勝浦どなになっとな」と言われるが、町長の認識は。

野上町長

職員の事務処理などスピード感到に欠けており、町民に対し申し訳



勝浦みかんで最下位脱出!

ないと思っている。

今後どう取り組んで行くのか。

中瀬総務防災課長

8月からふるさと納税サイト「さとふる」に掲載し、特産のみかんなど50品目を予定している。

ふるさと納税は、町の貴重な財源確保策として取り組むべきである。

企画交流課に人員を配置し、業務委託する方法や、政策監にもこの制度に関わってほしい。

町長

ふるさと納税は、町のPRや活性化にも繋がる。今後、体制など検討し、政策監には観光・交流や企画力で関わってもらう。町として必ずやります、みとってください。

合意が難しい消防常備化

まずは小松島市と調整

県は「消防広域化推進計画」

のなかで、関係市町村をとりまとめると言ってきたが、具体的に進んでいない。4月に県の担当者とともに小松島市に行ったと聞くがどうなっているのか。

山田副町長

常備化に向けて、県が進めている東部ブロック内の関係市町村で合意するのは難しいので、まずは小松島市と勝浦町とで話を進めて行くことにした。

小松島市は「今、一挙に話を進めていく時ではない」とのことであった。

消防の常備化

については、まず徳島市にお願いに行くべきだが、町長の認識は。

町長

県と協議し、早いうちに徳島市に行きたい。

さとふる（勝浦町）

「さとふる」は、ふるさと納税を通して、日本全国に各ふるさとを知ってもらい、地域活性化に寄与することを目的としたサービス。

<https://qr.go.page.link/oiKyj>



その他の質問

- 通学路の安全対策

くにきよ いちじ
国清 一治 議員

地域に生きる

ONE ワン・チーム TEAM

元気な勝浦に、もっと活気を。



NPO 法人 阿波勝浦井戸端塾

どんな
グループ

1988年から、日本に春を呼ぶ「ビッグひな祭り」を開催している NPO 法人阿波勝浦井戸端塾。33 年間も続く「ビッグひな祭り」は、全国にも珍しいと高い評価を得ており、その理由は会員がワンチームとなった組織力にある。

そして、今回、東京オリンピック・パラリンピックの開催期間中に、日本青年館（東京都新宿区）1 階ギャラリーで雛人形の展示を行っている。展示した雛人形は、来場者の目を楽しませ、感動を与えている。その後は国際交流として、世界各国のオリンピック関係者にプレゼントする。



雛人形 1000 体の出立式

どんなこと
しよんで

元祖〈阿波勝浦〉ビッグひな祭りの企画・運営
恐竜の里（立川） 管理運営
道の駅「ひなの里かつうら」指定管理



今後の
展望

NPO 法人阿波勝浦井戸端塾は、2016 年のブラジルで開催されたリオオリンピックで、日本の人形文化として雛人形を展示した際、大好評を得、東京オリンピックでの展示へと繋がった。

さらに 2024 年フランスで開催されるパリオリンピックでの雛人形展示の実現に夢を膨らませている。

～ビッグひな祭りを世界へ～



議会広報常任委員会

新型コロナウイルス・デルタ株感染が急拡大しているなか57年ぶりの東京パラリンピックが開催されます。オリンピック・パラリンピック、本来なら大勢の観客のもと世界のアスリートの技や頑張りを感じと勇気をもらう大会であったはずですがテレビ観戦で少しでも感動をもらいたいと思っています。残念ながらこのコロナ禍はまだまだ終息しないようですが勝浦町では県下に誇れる速さでワクチン接種が進んでいます。都市部でのワクチン接種が進むことや治療薬により早く日常に戻るよう願っています。

（相原）

編集後記

